

若手研究者・大学院生の集い

JSA「夏の学校」2009 in 草津

～人間の尊厳と科学者の役割（仮題）～

主催：JSA「夏の学校」2009 実行委員会

* 今年では東京の院生が中心です。

●はじめに●

全国の若手研究者・院生のみなさん！今年も恒例の「夏の学校」の季節がやってまいりました。9月初旬、温泉地としても有名な群馬県は草津を舞台に開催いたします。

「夏の学校」は、毎年全国各地から分野を越えた若手研究者・院生が多数集まり、フィードバック・学習企画を通じて現実社会の諸問題について学んだり、それぞれが抱える研究上の課題や悩みを交流したりと、私たち若手・院生が次代を担う科学者・研究者として大きく成長することを大きな目的としています。

草津に場所を選んだ今年の社会問題のテーマは、ハンセン病問題です。明治以降、そして現代に至るまで、日本政府が近代化を進めていく過程で推し進めたハンセン病患者の隔離・撲滅の国家的政策によって、いわれのない差別を受けたばかりか、生存そのものも否定され、人として生を営むことが許されなかったハンセン病患者の現実から、人間の尊厳とは何かを考えたいと思います。

また、進路や研究環境など、若手・院生を取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、であればこそ、私たちが相互に連帯し、励ましあっていくことが求められるのではないのでしょうか。「夏の学校」では、参加者相互の研究交流や悩み交流も企画の大きな柱としてとりこんでいく予定です。

今後の研究活動・社会的諸実践を活力あるものとすべく、今年も「夏の学校」に結集しましょう！

●概要●

- 日程 : 2009年9月4日(金)～6日(日)(2泊3日)
- 開催地 : 草津町(群馬県) ○ 宿泊 : 草津セミナーハウス
- 参加費 : 15,000円程度を予定しています。

●企画内容●

- ハンセン病問題 FW&学習会
 - ・ 国立療養所「栗生楽泉園」で入所者の方にお話しをうかがいます。また、悪名高い「重監房」などの施設見学を行います。
 - ・ 講師をお招きして、ハンセン病問題の歴史・実態・運動について学習します。
- 研究交流・悩み交流企画
 - ・ 専門分野を越えた研究交流を行いつつ、研究上の課題や困難、悩みについても交流します。

* 参加費や申し込み方法、企画内容等の詳細については、2ndサーキュラーにてお知らせします(7月予定)。

●「夏の学校」ホームページ●

<http://www.jsa-t.jp/wakate/summerschool/firstofall-previous.html>

これまで開催された夏の学校の様子は、上記 URL (JSA 東京支部 HP 内) でご覧になれます。

ホームページでは、今年の企画案内についても随時掲載していきます。

●問い合わせ先●

日本科学者会議 (JSA) 全国事務局 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶洲ビル 9F

TEL : 03-3812-1472 Fax : 03-3813-2363 E-mail : mail@jsa.gr.jp